

教職課程履修プロセス（教員免許状取得まで）〔目安〕

（例 1年次から履修開始の場合）

学年	主な教職関係科目の履修	介護等体験 (中学校免許状取得希望者は 必須)	教育実習	事務手続
1年	教育基礎論 教職入門 教育行政学 学校の制度と経営 教育心理学 特別支援教育概論 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作	登録ガイダンス (10月中旬～11月中旬) テキストの購入(10月中旬～) 原票の提出(11月) 麻疹に関する届出準備 (11月中旬～) 体験費用の納入(12月～1月)		教職課程ガイダンス (4月) 履修料納入・履修登録 (4月)
2年	授業デザイン論 教育課程論 道德教育の理論と実践 総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教育の方法と技術 生徒・進路指導論 教育相談の理論と方法	事前指導(3月～4月) 定期健康診断の受診 (4月上旬) 麻疹に関する届出書提出 体験先決定及び個人票の提出 (6月下旬～7月上旬) 介護等体験(5月～翌年3月) ※5月～7月までの介護等体験については、直接学生に連絡します。	「教育実習登録ガイダンスについて(日程等)」及び「『教育実習登録ガイダンス』までに各自でやるべきこと」等掲示(1月)	履修登録(4月)
3年	教科教育法 教育実習Ⅰ		登録ガイダンス(3月～4月) 教育実習Ⅰ履修希望提出(5月) 教育実習Ⅰクラス確定(6月) 都内公立校、明大付属校実習者本登録(9月) 教育実習Ⅰ 「事前指導」開始(秋学期) 教育実習オリエンテーション(12月)	履修登録(4月) 単位確認票配布(11月)
4年	教育実習ⅡA・ⅡB 教職実践演習(中・高)		教育実習ⅡA・ⅡB 「事前指導」(春学期) 「学校現場実習」 春学期(5月上旬～7月下旬) 秋学期(8月下旬～11月下旬) 「事後指導」 春学期(6月下旬～7月下旬) 秋学期(10月下旬～12月上旬)	履修登録(4月) 一括申請ガイダンス及び予備登録手続(4月初旬) 介護等体験証明書提出(7月) 一括申請確認説明会及び本申請手続(10月頃) 免許状一括申請手数料納入(10月) 免許状交付(卒業式)

注1：主な教職関係科目の学年は履修開始年次を示す。履修年次は目安です。

注2：介護等体験及び教育実習に関するスケジュールは、今後変更になる可能性があるため、掲示に注意すること。

注3：所属する学部または学年によっては、取得を希望する課程の一部の授業科目が、所属するキャンパスに開設していないことがあります。

＜教師として必要な専門的力量を自覚的に鍛えるためのカリキュラム＞

1～2年次（年次は目安）

A. 自ら学び、自分の世界を構成し、知的活動のスタイルをつくる社会的視座の形成

- ① 自ら学ぶ力（習慣）を身につけ、自分の世界を深め広げる = 「教育基礎論」（1年次から）
現代の教育の課題を認識しつつ、教育の基礎であるポジティブな学習観を形成する自己形成としての教育（ビルドゥング）を通じて、教育への情熱と志を育てる読書習慣（最低週2冊以上）、研究会主催能力をつける。
- ② 社会的・民主主義的視座で教育と教師を捉える力 = 「教職入門」, 「教育行政学」, 「学校の制度と経営」
(1年次から)
現代の教育と教師を、広い歴史的社会的視野の中で捉えなおし、民主主義的な社会をつくる主体としての認識と行動を学ぶ。教育と教師をめぐる現実の社会的問題に対する目を開く。

B. 他者と自己に関わる力の形成

自分とは異質な他者に積極的に関わり、自己と他者の固有な世界をすり合わせ、互いの中に新しい意味が生まれるようなクリエイティブな関係性をつくる力の形成を目指す。

- ① 発達を通じて他者と自己に関わる力 = 「教育心理学」（1年次から）
発達のながめる力 [特別支援教育概論]（1年次から）
自己をコントロールする力、共感力
- ② 公共性と倫理に関わる認識力 = 「道徳教育の理論と実践」（2年次から）

介護等体験

2～4年次（年次は目安）

A. 教師としての当事者能力の形成

学校組織の中で責任を担う教師の仕事を知り、実習へ向けて課題意識を鮮明にする。

- ① 他者のアイデンティティ形成を助け、援助的に関わる視点を養う
= 「教育相談の理論と方法」（2年次から）, 「生徒・進路指導論, 特別活動論」（2年次から）
- ② 学校組織の特質と役割の理解 = 「教育法」（2年次から）
教育実習に向けて、社会的組織としての学校を理解する
- ③ 教科運営の基礎的方法を見直す力, 「教える」力 = 「授業デザイン論」（2年次から）
= 「教科教育法」（3年次から）
- ④ 学びあう関係をつくる力と技術 = 「教育課程論」（2年次から）
カリキュラムを構成する力 = 「教育の方法と技術」（2年次から）
= 「総合的な学習の時間の指導法」（2年次から）

B. 教育実践力を高める

学校現場で教師の仕事を体験し自分の課題を見つける

= 「教育実習Ⅰ」（3年次）, 「教育実習ⅡA・ⅡB」（4年次）

C. 教育実習体験を踏まえ、教職課程の全カリキュラムの学習を再確認し、統合する

= 「教職実践演習（中・高）」（4年次）

すべての授業における教育方法を通じて、経験を言語化する力、読書力、ディスカッション能力、プレゼンテーション能力、場の運営力を鍛える。